

業 種	航空
取組分野	情報伝達及びコミュニケーションの確保
テ ー マ	医療クルー等との円滑な連携強化
取組の狙い	2018 年度にドクターヘリ向けの訓練用シミュレーター（MeTra:Medical Trainer）を導入・整備し、不測の事態等を想定した医療機関、消防機関との合同模擬訓練を実施することで、円滑な連携を強化
具体的内容	<p><b>1. 活動に至った経緯</b></p> <p>ドクターヘリの事業特性上、医療クルー等との円滑な連携による運航が必要となるが、その教育・訓練方法については、新たな医療クルーが加わる毎に、会議室内に椅子等を配置する等し、実機の内部を模した状態で教育・訓練を実施していた。</p> <p>また、医療クルーとの連携強化を図るための実機を使用したOJTについては、緊急出動等に備える必要があることから、十分な訓練期間を確保できない等、質及び量ともに課題があると認識していた。</p> <p>そのため、使用できなくなった機材を購入・整備し、訓練用シミュレーターとして再生させ、実機に近い状況の中、チームワークの強化及び不測の事態を想定した合同模擬訓練を実施している。</p>
	 <p>令和元年 10 月 19 日～12 月 22 日に開催された「あいち航空ミュージアム」における MeTra 展示状況</p>
	<p><b>2. 具体的活動内容</b></p> <p>訓練の有効性を高めるためには、より実践的な訓練環境が必要である。このため、機体を使用するのみならず、ストレッチャー、模擬の医療器材を搭載して「実際の作業空間」を実現することとした。</p> <p>また、エンジン始動、加速の騒音及び振動の中で医療者がヘッドセットを使用して「マイクを通じて機内交話装置（ICS：Intercommunication</p>

System) で会話する」という環境を実現するため複数のスピーカーと加振装置を PC で制御するシステムを構築する他、機外から医事無線、消防機関及び運航管理担当者との模擬交信も同システムにて実現している。

さらに、操縦士・整備士は、このような設定を利用して、エンジン始動時の緊急操作訓練などにおけるクルー間の連携訓練も実施することができる。

#### 不測の事態を想定した医療クルーとの訓練実施状況



訓練用シミュレーター内部



取組の効果

操縦士、整備士、医療者及び支援関係者に対する個別の訓練、並びにチームとして統合した訓練を、運用開始から延べ3回、60人以上、2箇所を実施した。

	<p>訓練内容については、初期訓練、リカレント訓練、緊急対処訓練等を用意しており、訓練実施後のアンケートによる課題等の把握も行っている。</p> <p>なお、医療関係者等の受講者から、「今後はこの機材を有効に活用し、ドクターヘリの普及や発展に役立てて行きたい」という意見等も見受けられる等、好評を得ている。</p>
事業者名	セントラルヘリコプターサービス株式会社 営業部 (連絡先：0568-39-1170)